

問題 1

次の各文章の空欄に最も適当と思われる語句を語群から選んで記号で答えなさい。

- (1) 販売管理ソフトや購買管理ソフトなどの業務ソフトと会計ソフトとの間に①機能がある場合には、これらの業務ソフトで処理した売上や仕入、売掛金や②の会計データを会計ソフトに取込むことができる。

語群：

ア	売上原価	イ	売上総利益	ウ	買掛金	エ	借入金
オ	データ圧縮	カ	データ更新	キ	データベース	ク	データ連携

- (2) 売掛金の回収が遅れているときは、その分③が減少する。買掛金の支払を遅らせれば、その分④が減少する。

語群：

ア	拡張	イ	減少	ウ	支出	エ	収縮
オ	集中	カ	収入	キ	増加	ク	分散

- (3) 仕掛品や製品などの期末評価額が高くなると、その分だけ⑤が増加することになる。

語群：

ア	欠損金	イ	収益	ウ	収入金額	エ	所得
オ	損失	カ	必要経費	キ	費用	ク	利益

- (4) 減価償却費は、⑥を伴わない費用である。

語群：

ア	経費	イ	支出	ウ	収益	エ	収入
オ	損益	カ	損失	キ	貸借	ク	付属品

- (5) すでに確定した電子会計データが、⑦によって更新されないようにするために、いくつかの会計ソフトには特定の日付を入力すると、その日付以前の会計データの⑧や更新ができないようにする機能がある。

語群：

ア	演算	イ	計算ミス	ウ	集計ミス	エ	出力
オ	制御	カ	操作ミス	キ	転記ミス	ク	入力

- (6) 会計ソフトでは製造原価報告書を作成するために、期末材料棚卸高や期末⑨棚卸高などを入力しなければならない。

語群：

ア	仕掛品	イ	試供品	ウ	商品	エ	製品
オ	備品	カ	見本品	キ	有価証券	ク	連産品

株式会社Nテクノロジー（以下「当社」という。）について、次の資料にしたがって、平成27年5月の必要な会計処理を行い、下記の設問に答えなさい。

<資料>

1. 当社の概要

会 社 名：株式会社Nテクノロジー

会計期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

資 本 金：5,000万円

業 種：精密機械の製造業

消 費 税：課税事業者（本則課税）、税抜経理方式

消費税率の引上げに伴う経過措置の規定を考慮せず、消費税等の税率は8%として処理すること。

2. 4月分の取引及び5月分の取引のうち、一部の取引についてはすでに入力済みである。また、会計処理にあたっては、すでに入力済みの処理を参考にするともに、新たな勘定科目や補助科目の追加は行わないものとする。

なお、5月分の取引ですでに入力が終了しているものは、次のとおりである。

(1) 4月分の電話料金の支払

(2) 次の4月分経費の総合振込による支払

4月分材料代、4月分外注加工費、4月分運送費、4月分従業員等立替金精算、4月分文具代

(3) インターネットバンキング手数料

(4) 4月分売掛金の回収

(5) 4月分給料の支払

(6) 労働保険料の支払

※労働保険料の納付期間は6/1から7/10までであるが、本間では便宜的に5月中に納付したものとしている。

(7) 電気料金、水道料金、ガス料金の支払

(8) 次の5月分経費の未払計上

運送料、営業旅費、営業雑費、製造雑費、電話料金、文具代、電気料金、水道料金、ガス料金、労働保険料事業主負担額

(9) 5月分減価償却月割額

3. 製品の販売について

顧客からの注文により、精密機械を製造販売している。売上高は、その月に完成・出荷したものを月末に計上している。販売代金は、翌月10日までに当社の普通預金口座に振込入金される。

製品の販売は、販売管理ソフトにより管理している。顧客ごとの売掛金管理は、販売管理ソフトで行っているため、売掛金勘定に補助科目を設けていない。

販売管理ソフトから出力した5月分の販売高合計は、次のとおりである。

集計期間	本月売上高	消費税額	本月請求額
27/5/1～27/5/31	15,000,000	1,200,000	16,200,000

4. 材料および外注加工費について

材料を仕入先から購入し、その加工を外注先に依頼している。材料購入額および外注加工費は、その月に購入または発生したものを月末に計上している。代金は、翌月10日までに同社の指定口座にインターネットバンキングを利用して総合振込をしている。

材料および外注加工費は、購買管理ソフトにより管理している。仕入先および外注先ごとの買掛金管理は購買管理ソフトで行っているため、買掛金勘定に補助科目を設けていない。

購買管理ソフトから出力した5月分の材料購入額合計および外注加工費発生額合計は、次のとおり。

区分	集計期間	購入・発生額	消費税額	合計額
材 料 購 入 額	27/5/1～27/5/31	7,000,000	560,000	7,560,000
外注加工費発生額	27/5/1～27/5/31	9,000,000	720,000	9,720,000
合 計		16,000,000	1,280,000	17,280,000

5. 役員報酬・給料手当について

当社の給与計算期間は、毎月1日～月末までであり、翌月15日にインターネットバンキングにより各従業員等の口座に振込んでいる。なお、毎月末に当月発生分の給料等を未払計上している。

5月分の給与明細一覧表（合計部分）は、次のとおりである。なお、役員報酬及び給料は販売費・一般管理費として処理し、賃金は製造原価として処理するものとする。

給与明細一覧表（5月・合計）

摘要	役員報酬	給料	賃金	合計
役員報酬	500,000			500,000
基本給		250,000	1,260,000	1,510,000
諸手当		40,000	430,000	470,000
総支給額	500,000	290,000	1,690,000	2,480,000
健康保険料	24,925	12,961	65,303	103,189
介護保険料	3,950	0	5,530	9,480
厚生年金保険料	43,685	22,716	114,453	180,854
雇用保険料	0	1,450	8,450	9,900
所得税	18,710	6,640	36,740	62,090
住民税	25,500	22,100	71,800	119,400
控除額計	116,770	65,867	302,276	484,913
差引支給額	383,230	224,133	1,387,724	1,995,087

6. 法定福利費について

当社は、毎月末に当月分の健康保険料、介護保険料、厚生年金保険料の事業主負担額を未払計上している。事業主負担額は、役員及び従業員から預かる金額と同額とする。

7. その他の支払等について

その他の支払等については、次の普通預金通帳から判断して処理しなさい。なお、行頭に「*」の付してある取引については、すでに入力済みである。

預金通帳

	年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
	1	H18-05-01 繰越			★13,151,231
*	2	H18-05-05 電話	★118,800		★13,032,431
*	3	H18-05-10 振込	カ)エイ	★19,440,000	★32,472,431
*	4	H18-05-10 インターネット	★24,447,420		★8,025,011
*	5	H18-05-10 手数料	★21,600		★8,003,411
	6	H18-05-10 税金等	★69,450 (注1)		★7,933,961
	7	H18-05-10 税金等	★119,400 (注2)		★7,814,561
*	8	H18-05-15 インターネット	★2,013,907 (注3)		★5,800,654
*	9	H18-05-20 税金等	★242,400 (注4)		★5,558,254
*	10	H18-05-25 電気	★421,200		★5,137,054
*	11	H18-05-25 水道	★56,160		★5,080,894
*	12	H18-05-25 ガス	★84,240		★4,996,654
	13	H18-05-28 口座振替	★95,182 (注5)		★4,901,472
	14	H18-05-31 税金等	★587,046 (注6)		★4,314,426
	15	H18-05-31 税金等	★2,074,000 (注7)		★2,240,426
	16	H18-05-31 税金等	★396,000 (注8)		★1,844,426
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				

(注1) 源泉所得税の納付額であり、4月中に支払った給与等（3月分給料等）から徴収したものである。

(注2) 住民税の納付額であり、4月中に支払った給与等（3月分給料等）から徴収したものである。

(注3) 4月分の役員報酬および給料の支払額である。

(注4) 労働保険料の支払である。金額は、昨年度確定保険料と概算保険料の差額2,400円と当年度概算保険料240,000円の合計額である。昨年度の差額は、昨年度末に未払計上している。

(注5) 長期借入金の返済である。

当社は、次の返済表（抜粋）にしたがって長期借入金を返済している。

借入金返済予定表

株式会社Nテクノロジー 様

株式会社F銀行

融資金額	10,000,000円	利率	2.70%	融資日	2014/10/01
融資期間	10年	毎月返済額	95,182円		
返済日	返済額	元本	利息	合計	残高
...	...	...	...	...	...
2015/04/28	95,182円	73,669円	21,513円	95,182円	9,487,776円
2015/05/28	95,182円	73,835円	21,347円	95,182円	9,413,941円
...	...	...	...	...	...

- (注6) 4月分の社会保険料の支払額である。(4月分の社会保険料の未払計上額および従業員預り金額については、すでに入力済みの電子帳簿書類の記録から判断すること。)
- (注7) 前期確定法人税等の納付額である。同額を前期末決算において未払法人税等勘定に計上している。
- (注8) 前期確定消費税等の納付額である同額を前期末決算において未払消費税等勘定に計上している。

8. 月末在庫について

材料は、在庫管理ソフトにより管理している。材料の5月末在庫金庫の合計額は、次のとおりである。

また、原価計算は表計算ソフトにより行っており、仕掛品と製品の5月末在庫金額の合計は、次のとおりとなった。

名称	合計在庫金額
材 料	1,060,000
仕 掛 品	21,726,966
製 品	13,321,853
合 計	36,108,819

設問 次の金額を答えなさい。なお、金額には消費税を含まないものとする。

No.	設問	金額
1	現金預金合計の5月末残高	
2	製品の5月末残高	
3	仮払消費税の5月末残高	
4	長期借入金の5月末残高	
5	5月末の流動資産合計	
6	5月末の総売上高	
7	5月末の期首製品棚卸高	
8	5月末の役員報酬	
9	5月末の給料手当（製造費用）	
10	5月末の販売費・一般管理費合計	

問題 3

株式会社 S 商事の次の資料にしたがって、下記の設問に答えなさい。

<資料>

1. 会計ソフトから出力した実績資金繰り表（平成27年4月～6月）

実績資金繰り表

（単位：千円）

月度			4 月	5 月	6 月
前 月 現 預 金 残 高			1,000	1,325	2,000
経常収支	経常収入	現 金 売 上	100	100	100
		売 掛 金 回 収	2,000	1,800	800
		手 形 回 収			
		受 取 利 息			
		その他の経常収入	10	10	10
		計	2,110	1,910	910
	経常支出	現 金 仕 入			
		買 掛 金 支 払	800	1,000	700
		支 払 手 形 決 済			
		人 件 費	500	500	1,000
		営 業 経 費	400	250	280
		支 払 利 息	5	5	9
		その他の経常支出		400	
	計	1,705	2,155	1,989	
	経 常 収 支 差 額		405	▲245	▲1,079
その他の収支	その収入	借 入 金 収 入		1,000	
		設備等売却収入			
		そ の 他			
		計	0	1,000	0
	その支出	借 入 金 返 済	80	80	160
		設備等取得支出			500
		そ の 他			
		計	80	80	660
そ の 他 の 収 支 差 額		▲80	920	▲660	
当 月 収 支 差 額		325	675	▲1,739	
次 月 繰 越 現 預 金 残 高		1,325	2,000	261	

2. 留意事項

- (1) 4 月に新製品を発表したので、同月に多額の広告宣伝費の支出があった。
- (2) 5 月に400千円の税金の納付があった。
- (3) 5 月に G 銀行から1,000千円の追加借入れを行った。この借入金の返済は、利息を含めて6月から開始している。
- (4) 上記(3)により借入れた資金は、6 月に賞与500千円の支給と備品500千円の購入にあてられた。
- (5) 得意先 H の経営不振により、6 月の売掛金回収額が予定を大きく下回っている。

設問 株式会社S商事の資金の状況を説明した下記の各文章の空欄に最も適当と思われる語句を語群から選んで記号で答えなさい。

- (1) ①の経常収入が他の月に比べて最も少なかった原因は、②の減少である。

語群：

ア	4月	イ	5月	ウ	6月	エ	受取利息
オ	売掛金回収額	カ	現金売上高	キ	雑収入	ク	手形回収額

- (2) 5月の経常収支差額が③となった原因の一つは、④である。

語群：

ア	営業経費の増加	イ	銀行借入	ウ	人件費の増加	エ	税金の納付
オ	手形の支払	カ	備品の購入	キ	プラス	ク	マイナス

- (3) 5月のその他の収入は⑤によるものである。

語群：

ア	売掛金の回収	イ	借入金の返済	ウ	銀行借入	エ	現金売上
オ	雑収入	カ	手形の回収	キ	備品の売却	ク	利息の受取

- (4) ⑥のその他の支出が他の月に比べて最も多かった原因は、借入金返済額の増加と⑦である。

語群：

ア	4月	イ	5月	ウ	6月	エ	営業経費の増加
オ	銀行借入	カ	賞与の支払	キ	手形の決済	ク	備品の購入

- (5) 人件費が最も多かったのは6月で、⑧があったからである。

語群：

ア	健康診断	イ	社員旅行	ウ	従業員の採用	エ	賞与の支給
オ	新人研修	カ	税金の納付	キ	備品の購入	ク	利息の支払